

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2020 No.539

11 / 1

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



JART-JSRTトップ会談 ライブ配信で開催される



2020年10月15日(木)午後7時より、「JART-JSRTトップ会談～両団体のこれまでとこれから～」と題して、本会上田克彦会長と公益社団法人日本放射線技術学会(JSRT)の白石順二代表理事による会談の様子がインターネット上でライブ配信された。トップ会談のライブ配信による試みは今回が初めてであり、司会・進行は本会富田博信副会長が務めた。

開催に先立ち、両代表の紹介ならびにあいさつがあった。また視聴者からの質問をチャット機能で受け付け、会談後にその回答時間が設けられると説明された。

冒頭では、白石代表理事により、協働事業が両会員に向けて十分に伝わる場を設けたいという本会談の趣旨と、JJ将来構想特別委員会の概要の説明があり、その後、会談は8つのテーマに沿って和やかに進められた。以下に会談の一部を紹介する。

- ① **JARTとJSRTのこれまでの協力体制**・・・ これまでも年2回の合同懇談会や、公開市民講座・地方学術大会を協働して行ってきた。またJSRTは放射線技術の発展と向上を目指す学術団体であり、JARTは診療放射線技師の地位向上を目指し、生涯教育による人材育成をもって国民へ貢献するための職能団体であるという本質的な違いが強調された。その上で、両会としての協働事業を推進したい。
- ② **社会貢献の在り方**・・・ 両会が協働で行える一例として、被ばく線量の管理や国民への説明が挙げられた。エビデンスをJSRTが発出し、臨床への還元をJARTが行い、両団体の協働により社会貢献が可能であると説明された。
- ③ **地方活動の在り方**・・・ 現在、全国8地域で合同学術大会を開催している。若手技師にも積極的に参加いただけるように推進する。
- ④ **国際化と国際戦略**・・・ JSRTはアジアでの学術大会に向けた会員への助成金事業を行っている。日本の放射線技術を



JART × JSRT



世界に発信するため、英語による国際事業を展開している。JARTはISRRTの一員として、各国で学術および事業の意見交換をしており、ECRの企画にも参加している。両会とも継続して推進していく。

- ⑤ **診療放射線技師の卒後教育**・・・ JARTはe-ラーニングや講習会など、各種技術向上のためのコンテンツ活用、また日本医師会や日本看護協会と連携したチーム医療の推進による育成に注力している。JSRTが最新技術の研究を行う研究者の育成および技術の実現化を行い、JARTが臨床に広めることで両会の連携が可能である。
- ⑥ **学術大会の開催**・・・ 以前、合同開催が答申されたが実現しなかった。両会の学術大会の性質は違うが、合同学術大会としてテーマの幅を拡大することで会員ならびに社会に有益な情報を提供できるため、今後は前向きに検討したい。
- ⑦ **診療放射線技師養成機関の教育**・・・ JARTでは業務拡大などのための診療放射線技師養成カリキュラムの見直しについて、全国診療放射線技師教育施設協議会で検討している。また学生のうちに研究の面白さを知ってもらい、教員には研究推進のため学生に情報を流してほしい。

⑧専門・認定技師制度・・・多数の類似認定制度が存在しており、日本医師会や国民の視点から認定制度を分かりやすくするため一元化を図ること、認定制度を診療報酬に反映させることを目標に、会員の意見を聞きながら検討したい。続いて総合討論では、視聴者からの質問が読み上げられ、両代表が回答する場面や、多職種の方からの激励メッセージ

が紹介された。

最後に富田副会長により、リアルタイムの視聴者総計人数は最高で570人であったことが告げられ、上田会長ならびに白石代表理事によるあいさつの後、会談は閉幕した。

なお、本会談の内容は本会誌1月号に掲載予定である。



上田会長 日本放射線科専門医会・医会を訪問

2020年9月13日(日)、本会上田克彦会長は日本放射線科専門医会・医会理事長の井田正博氏を訪問し、画像診断管理認証制度について、診療用放射線の安全利用における正当化の研修、放射線科医がない施設へのフォロー、そして診療放射線技師の専門・認定制度の課題などについて、両会にとって前向きな懇談を行った。今後も積極的に意見交換をする予定である。



2020年度 第6回理事会 開催される

2020年10月3日(土)午後2時より、2020年度第6回理事会がWeb会議システムにより開催された。本理事会は24人の出席により成立した。

開催に先立ち、上田会長よりあいさつがあった。新型コロナウイルス専用のCTの設置が実現し、CTを用いる職種は診療放射線技師であることが国会議員からマスコミを經由し強調されたこと、上半期の事業はほぼ中止となったが下半期は活動を再開したいと述べた。

議題は、「諸規程見直しについて(投稿規程・著作権規程・個人情報)」「JART常勤役員雇用について」「会誌・Network Now入札について」「e-ラーニングシステムにつ



いて「学術大会運営マニュアルの見直し」「JSRT合同委員会の設置について」「JART会議等の在り方再検討について」「レントゲン週間イベント共催・後援申請について」「2020・2021年度組織体制について」「会誌目次案・Network Now台割案について」「入会者・退会者の承認について」であった。

「JART常勤役員雇用について」では上田会長より、常勤役員が事務局内で執務することにより変化の激しい事務局業務を円滑に運営することができるとし、江端理事を常勤として雇用する提案がなされた。「e-ラーニングシステムについて」では中村理事より、学習の担保ができるシステムとして、学習管理システムのetudes（エチュード）を採用する案が出された。「学術大会運営マニュアルの見直し」では、講師や座長は本会会員に限定していたが、会員が望ましいとし、非会員である場合は入会案内も併せて依頼するものと変更が提案された。「JSRT合同委員会の設置について」では、本会と日本放射線技術学会（JSRT）との協力体制を具現化するため合同委員会を設置し、来年度から運用したいと説明された。全ての議題が賛成多数で承認された。

報告事項は、「会長・業務執行理事報告」「会員動向報告」「月次決算報告」「次年度予算策定について」「都道府県技師会長



および若手会員との懇談会企画について」「学術教育委員会報告」「主任者定期講習運営委員会報告」「人材育成委員会報告」「業務改善推進委員会報告」「入会促進委員会報告」「調査委員会報告」「診療報酬政策立案委員会報告」「統一講習会実施運営委員会報告」「第36回日本診療放射線技師学術大会について」「編集委員会報告」「医療安全対策委員会報告」「臨床実習指導施設登録報告」「医療被ばく安全管理委員会報告」「災害対策委員会報告」「放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステム導入支援事業」「診療放射線技師への業務の移管や共同化に係る調査報告」「地域理事報告」「他団体へのJART関係者の派遣について」「国際委員会報告」「会員情報システム委員会報告」「広報委員会報告」「新事務所移転実行委員会報告」であった。

「都道府県技師会長および若手会員との懇談会企画について」では上田会長より、オンラインなどで一月に2団体程度、都道府県技師会長および若手会員との懇談会を実施し、会員からの意見を聴取する機会を設けるとの説明がなされた。

最後に、江田総務理事から今後のスケジュールの確認があり、本理事会は終了した。

詳細は、2020年度第6回理事会議事録（抄）を参照されたい。



2020年度 第1回 画像等手術支援認定講習会 開催される

2020年9月6日（日）、2020年度第1回画像等手術支援認定講習会が広島で開催された。3次元画像は手術手技料で算定されている領域が画像等手術支援K939（3次元画像）で明記されており、手術支援の画像配信は医療安全の確保が第一条件でなければならない。しかし、施設間・作成者間で3次元画像の質に隔たりがあるのが現状であり、本講習会では、疾患別に標準レベルの画像構築についての基礎講習会を設けることで、認定または専門技術の向上を図るため、2016年度から画像等手術支援分科会を発足するとともに、認定制度

として活動している。

本年度は、COVID-19の影響により多くの学術活動が延期・中止となっていたが、本会が示す「会場型講習会開催ガイドライン（新型コロナウイルス感染対策）」に基づき、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、会場の換気を十分に行った上で開催され、46人の参加があった。次回は北海道での開催を予定しているが、こちらは分科会認定講習会で初めてのWeb開催を予定している。

国家試験日程決まる

第73回診療放射線技師国家試験の施行について、2020年9月1日付で厚生労働省から報告があった。

試験期日は2021年2月18日(木)、試験地は、北海道・宮城県・東京都・愛知県・大阪府・広島県・香川県・福岡県である。試験科目は、基礎医学大要・放射線生物学(放射線衛生学を含む)・放射線物理学・放射化学・医用工学・診療画像機器学・エックス線撮影技術学・診療画像検査学・画像工学・医用画像情報学・放射線計測学・核医学検査技術学・

放射線治療技術学・放射線安全管理学である。合格発表は2021年3月23日(火)午後2時である。なお、試験に関する手続きおよび問い合わせ先は、以下の通り。

診療放射線技師国家試験運営本部事務所
〒130-0022
東京都墨田区江東橋2-2-3 倉持ビルディング第2ビル6階
TEL: 03-6659-9687

COVID-19流行下における心肺蘇生法に関する勧告(指針)

INFORMATION

皆さまにおかれましては、COVID-19による危機的状況に、業務中はもちろん日々の生活でも感染対策に取り組まれていることと思います。

すでにご存じかと思いますが、業務拡大に伴う法改正により習得が必須の心肺蘇生法においても、COVID-19流行下に応じた対応法が勧告されました。

そこで改めて、日本蘇生協議会や厚生労働省より出されているCOVID-19流行下における心肺蘇生法に関する勧告(指針)について共有させていただきます。日本蘇生協議会によりますと、COVID-19の世界的まん延を受けて蘇生ガイドライン2020の発行に先立って、ドラフト版として心肺蘇生時の感染リスクと対策が発表されました。厚生労働省・日本医師会など多方面から同様の指針が出されています。

ぜひ、いま一度確認し、感染拡大防止に役立てていただきたいと思います。

皆さまご自身の体調管理にも、十分にご留意いただきますようお願い申し上げます。

【関連リンク】

- 日本蘇生協議会
<https://www.japanresuscitationcouncil.org/ilcor%e5%9b%bd%e9%9a%9b%e3%82%b3%e3%83%b3%e3%82%bb%e3%83%b3%e3%82%b5%e3%82%b9-covid-19%e9%96%a2%e4%bf%82/>
- 厚生労働省
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000123022.html>
- 日本臨床救急医学会
https://jsem.me/news/post_3.html
- 日本循環器学会
<https://www.j-circ.or.jp/covid-19/>
- 日本救急医学会
<https://www.jaam.jp/info/COVID-19.html>
- 日本医師会
<https://www.med.or.jp/99/poster2020.pdf>

診療放射線技師のための フレッシュャーズセミナー 開催報告

北海道

一般社団法人北海道放射線技師会 広報企画部 西原 徹

2020年9月12日(土)、北海道放射線技師会研修センターからZoomを利用したWeb配信で、フレッシュャーズセミナーを開催した。

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・病気の理解(脳神経・呼吸器・消化器)・救急CT撮影・入会案内と7つの講義が行われた。参加登録者はWeb開催の影響もあり、例年よりやや多い58人であった。

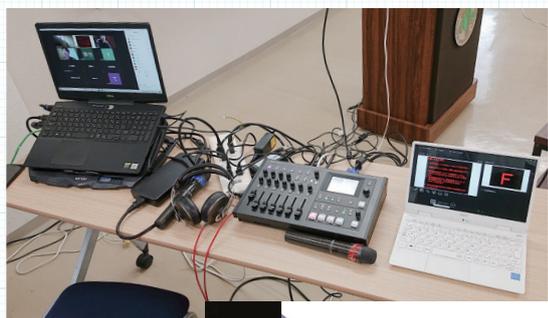
ライブ配信は初めての試みであり、必要な機材の選定・購入、通信・配信テスト、ホームページへの登録フォームの設置、申込者への視聴マニュアルの配布など、会場型に比べて準備が大変であったが、大きなトラブルもなく無事に終了した。

会場型と違い、受講者の受講状況を把握することが難しいため、修了証の発行は各講師が講義時に提示した文字をつなげてパスワードとし、修了証ダウンロード時に入力してもらう方法で対応した。

課題としては、掲示板を利用して質問を可能としたが、会場型に比べ質問が少なく、演者と受講者の意思疎通については、即時性などを含め再考の必要性を感じた。



コロナ禍における社会情勢を鑑みてWeb開催となったが、北海道地域は日本の面積の22%を占めるほど広大であり、300kmを超える移動ということも少なくない。会員の負担軽減や参加者増を考えると、Web開催は大変有効な手段と思われる。ただし、対面の良さや必要な場合もあるので、コロナ禍が落ち着いた後でも今回の経験を生かし、会場型とWebを使い分けながら事業を行っていききたい。



さあ！医療人としての患者接遇を実践しよう

あなたは病院を代表している一人です。
いつも誰かに見られています。
あなたのとった行動や言葉づかいで病院が
評価されてしまいます。

職場風土をより良くするためにがんばりましょう。

職員みんなで取り組まなければなりません。フレッシュマンのエネルギーあふれるやる気を職場に活かし、患者接遇の実践を盛り上げましょう！

HART会場

26



指消毒を徹底することで開催に踏み切った。

講義内容は「エチケット・マナー」「医療コミュニケーション」「医療安全」「感染対策」といった社会人・医療人としての心構えから、「胸部解剖」「気管支解剖」「医療被ばく低減」など、診療放射線技師として必要な内容ま



で幅広いものとした。

受講者は、組織で働くための基礎から始まり、患者さんに接する際の心構えやコミュニケーション法、今後は欠かすことのできないITを使用する際のコミュニケーション法を学び、また医療事故を防止するための考えや自身を感染などから守るための術など、幅広い分野において講師の方々の経験談を踏まえた内容に、長時間ではあったが真剣に聴講していた。

本来であれば、本セミナーは県内のフレッシュな診療放射線技師の顔合わせの場でもあり、今後のつながりをつくってもらうためのよい機会であったが、最小限のつながりでとどめるに至り、少し不完全なものになってしまった。しかし、この出会いを大切に、いつまでも関係の続く同期としてお互いに切磋琢磨し成長してくれることを願っている。

香川県

一般社団法人香川県診療放射線技師会 常務理事 木戸 裕

香川県診療放射線技師会では、2020年9月26日(土)、サンポートホール高松でフレッシューズセミナーを開催しました。当会では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くのイベント開催を自粛していましたが、全国の状況を踏まえ、また県内の感染状況も鑑み、今回が再開の第一歩となりました。受講者の勤務施設の状況に配慮し、当会では初となる会場型とWeb参加型をジョイントしたハイブリッド方式で開催しました。参加者はWeb参加3人を含む計12人で、主に技師歴が1年目から2年目の参加者になりました。

開催に際してはJARTの会場型講習会開催ガイドラインを参考にし、非接触型体温計やその他感染対策用品を



準備し、開始前と終了後の会場消毒、ソーシャルディスタンスの確保、飛沫対策パーティション、手指消毒の実施、検温やマスク着用など、最大限の感染防止に努めて行いました。なお、Web会議システムにはMicrosoft Teamsを使用しました。セミナー当日は、思った以上に労力のかかる感染対策や、Web会議システムの使用で手間取ることも多くありましたが、スタッフと受講者が協力し合い、フランクな雰囲気の下、無事に開催することができました。いくつか課題も残されましたが、Web会議システムにより新たな施設からの参加者を獲得することもでき、ウィズコロナ・アフターコロナに向けて、今後の事業にも積極的に取り入れていきたいと思ひます。

やり返さない勇気



拙稿の執筆依頼を受けたのは、ドラマ『半沢直樹』の最終回放送翌日であった。

7年前の前作は一度も視聴しなかったが、当時「やられたらやり返す。〇〇倍返し！」という決めゼリふは世の中を席卷しており、不肖、私もそれをネタに東京放射線（東京都診療放射線技師会会誌）の巻頭言を書いた。

視聴しないのに話題にしたのは、全ての場面・次元において何でもかんでも「やり返す」社会であつたら嫌だなあと考えたからである。当時（今もですが）、ヘイトスピーチ（憎悪表現）問題、他国による領土・領海侵犯、歴史認識問題などが頻繁に話題になっていたが、日経新聞1面コラム・2013年9月27日付『春秋』がふと目に止まった。そこには大リーガー、ジャッキー・ロビンソンのことが書かれていた（以下、一部引用・抜粋）。

人種差別の壁を打ち破った功績から黒人初の大リーガーとされるジャッキー・ロビンソン。その42番の背番号は、彼がデビューして50周年の1997年4月15日から大リーグ全球団の永久欠番となった。当時すでに42番を着けていて例外が認められていた最後の選手、ヤンキースのリベラ投手が引退すると42番を着けた選手はいなくなる。逆に4月15日の「ジャッキー・ロビンソン・デー」では、全ての選手が42番を背負う。

なぜ、大リーグの歴史の中でロビンソンの存在がこれほど重いのか。それは「素晴らしいプレーの記憶に劣らず、卓越した人柄の記憶によって」と書かれている。

当時、内外の反発を押し切ってロビンソンをドジャースに招いたリック会長、当初は人種差別に敏感だったというロビンソンに初めて会ったとき口にしたと伝えられる言葉は「やり返さないだけのガッツを持ってほしい」。自制する根性こ

そ本物と論し、それを実践したロビンソン。そして大リーグの宝が生まれたという。

その年に公開された映画『42～世界を変えた男～』のオフィシャルサイト (https://warnerbros.co.jp/home_entertainment/detail.php?title_id=3993/) には、

“敵は相手チームだけではない。観客、マスコミ、ときには審判、そしてチームメイトさえ、周りじゅうの全てを敵に回す中、何にも屈せず、やり返さず、ただ黙々と渾身の自分のプレーを続けることで、彼はそこが自分のいるべき場所であることを自ら証明してみせていく。そして世界は少しずつ、しかし、確実に変わり始める……”

とあった。

『半沢直樹』に戻ると、前作では倍返し～10倍返しだったと思うが、今回は千倍返しとパワーアップされたり、各役者の濃厚な演技・せりふが話題であつたりで、全編視聴した。私が一番感動したのは、半沢直樹の妻、花ちゃん（上戸彩さん）の最終回のせりふである。

「何があつたか知らないけどさあ、もう頑張らなくていいよ」「…今までよく頑張ったね、ありがとう。お疲れさま…」「…生きてれば何とかなる！」「生きていれば…何とかね」

ぶつかるだけが人生じゃない。そう言わないでも伝わってくる。

「不可能」の反対は「可能」ではない。「挑戦」だ!!

“ジャッキー” ジャック・ルーズベルト・ロビンソン

（文責：篠原健一）

本会への入会手続きについて (お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- ❶ 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から“新規入会はこちらから”をクリック
- ❷ 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-5405-3612 E-mail : info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

INFORMATION

第36回

日本診療放射線技師学術大会
-WEB開催-JCRT
2020
SENDAI

国民と共にチーム医療を推進しよう

人と技術をつなぐ
令和の未来へ

会期

2021年1月8日～31日

会場

Web開催

会長

上田 克彦

公益社団法人日本診療放射線技師会 会長

大会長

立花 茂

公益社団法人 宮城県放射線技師会 会長

主催

公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催

公益社団法人 宮城県放射線技師会

後援

未定

参加登録のお知らせ

- 事前：2020年10月5日(月)～12月17日(木)
- 会期中：2021年1月8日(金)～1月21日(木)

■ 申込方法

JART情報システム(JARTIS)よりお申込み



会期中の参加登録は、JARTISでの申し込みから参加ができるようになるまで数日かかることがあります

運営事務局 公益社団法人 宮城県放射線技師会 事務局

〒983-0824 宮城県仙台市宮城野区鶴ヶ谷三丁目4番15号 TEL：022(388)3777 FAX：022(388)3778

診療放射線技師のための フレッシューズセミナーのお知らせ

INFORMATION

プログラムは、エチケット・マナー・医療安全・感染対策・気管支解剖・胸部撮影基礎（都道府県により違いあり）など、現場ですぐ役立つ知識です。会員・非会員を問いません。

日程と会場については変更される可能性がありますので、詳細は、都道府県技師会までお問い合わせください。

■フレッシューズセミナー開催予定：

| | | | | | |
|----|-----------|-------|----|-----------|-------|
| 三重 | 11月 1日(日) | Web開催 | 京都 | 11月 1日(日) | Web開催 |
| 山口 | 11月 1日(日) | | 富山 | 11月 8日(日) | |
| 愛知 | 11月 8日(日) | | 福井 | 11月28日(土) | |
| 兵庫 | 11月28日(土) | | 大阪 | 11月29日(日) | Web開催 |

11月・12月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■「看護学」(実習)講習会： 京都 11月21日(土)【中止】

■業務拡大に伴う統一講習会： 東京 11月22日(日)～23日(月・祝)

■医療放射線安全管理責任者講習会： 兵庫 第6回：12月 6日(日)

福岡 第7回：12月20日(日)

■Master's eye seminar： (Web同時配信) 12月 9日(水)

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催中止または開催方法が変更になる場合があります。

ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

■「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html

■「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt000000603l.html

論文投稿システム運用に伴う投稿規程改定の紹介

INFORMATION

2020年11月より論文投稿がオンライン化されました。これに伴い、2020年度第6回理事会で本会が定める投稿規程が一部改定されました。

これまで「原稿を正副2部提出し、正原稿には電子媒体にて当該データを添付」（旧投稿規程引用）して本会事務局に郵送する必要がありましたが、「オンライン投稿システムを用いて投稿する」（新投稿規程引用）と改定されました。電子化により紙媒体や郵送の手間をなくし、時代に即した形式に変更されています。

投稿規程は毎号会誌に掲載されています。またオンライン投稿ページからも閲覧可能です。上記内容以外にも変更された細かな項目がありますので、会員の皆さまには論文の執筆前に必ずご確認くださいようお願い致します。

なお、具体的なオンライン投稿方法については会誌をご参照ください。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。